

土地改良団体における女性参画推進検討業務推進中

全国水土里ネットが農林水産省から受託した「女性参画推進検討業務」第3回有識者委員会(西日本ブロック)が12月7日に開催され、活発な議論が交わされました。

有識者委員会委員 (敬称略、五十音順)

委員長	太田 信介	元農林水産省農村振興局長、前(一社)地域環境資源センター相談役
委員	奥村千扶子	宮崎県大島堰土地改良区理事長
委員	久保田 修	熊本県土地改良事業団体連合会常務理事
委員	林田 俊秀	長崎県三会原土地改良区理事長
委員	本田 重徳	愛媛県松山市市坪土地改良区理事長
委員	柳川けい子	宮崎県巢ノ浦土地改良区理事



詳しい情報が必要な方は
全土連土地改良広報センター牧、野口まで
TEL:03-3234-5480/E-M:midorinet@inakajin.or.jp



有識者委員会でのご発言より

◆委員長

- ・男社会の土地改良に、女性参画の新しい風が吹くというのは、それだけでも土地改良区が変わったなということになる。
- ・委員の皆さんがスポークスマン。PRの先頭に立っていただきたい。

◆委員

- ・女性は土地改良区に対して男社会の意識があるため、改良区自体に目を向けない。

- ・女性理事が活躍できることが大事。無理やり機械的に数字だけ上げて意味がない。
- ・多くの女性が農業経営の一部を担っているので、彼女達が理事になると良い。
- ・農水省から言っていただくとみんな一気に拍車がかかり、やらなくてはいけないようになる。
- ・女だからとか、男だからとか私は考えたことはない。女性だから不利ということはまずない。

ひと口メモ JAの推進状況等 ● JAでは女性や青年を正組合員にする一戸複数組合員制を実施「第5次男女共同参画基本計画」より

JA

女性役員が登用されていない組織数 : (2018年度) 107/639 ⇒ (2025年度) 0
役員に占める女性の割合 : (2018年度) 8% ⇒ (2025年度) 10% (早期), 更に 15%
※2021年度(参考)・女性役員が登用されていない組織数 87/562 ・役員に占める女性の割合 9.4%

土地改良区(連合含む)

女性理事が登用されていない組織数 : (2016年度) 3,737/3,900 ⇒ (2025年度) 0
理事に占める女性の割合 : (2016年度) 0.6% ⇒ (2025年度) 10%